



ひだのたくみ
飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち
メイド・バイ飛驒高山認証



市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合致する独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」に認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。

飛驒高山ブランドコンセプト

「飛驒高山の風土と飛驒人の暮らしが
生み出す本物 それが飛驒高山ブランド」

No.4 **火畑そば**
NPO法人ワイ・アイ・ケー

標高1,200〜1,300

メートルの高地で地元の在来種と完全無農薬にこだわり栽培し、収穫時期に2回程度霜に打たせることで生み出される甘味と風味が人気の火畑そば。

昔は、今よりもうんとお米が貴重でね。ご飯半分、そば半分で食べていました。「そばもち」もよく食べましたねー

と、幼い頃の思い出を振り返るのは、NPO法人ワイ・アイ・ケーの理事長を務める中田直太郎さん。

火畑そばの生産地である日和田地域は、昔は主食の多くを焼き畑耕作による雑穀づくりに依存していたため「火畑村」と呼ばれ、そこから変化し「日和田」と呼ばれるようになったという説があるほどです。火畑そばは、平成21年に地域の活性化団体である同法人が、昔の名残である火畑の名を冠して、地元の特産品として製品化しました。

このままでは地域が衰退してしまふ。子どもたちに何か残していかなければと思ひ、NPO法人を立ち上げましたー

同法人は、昭和60年代に祭りのバザーなどで地域を盛り上げていた日和田青年団のメンバーが中心となり設立し、火畑そばの特産化をはじめとする地域産業の振興のほか、地域の歴史文化の保護・継承など、地域振興を図り、次世代へつなぐ役割を担っています。

― 当時のメンバー10人で役割分担しながら、生涯現役に頑張っています。今後は若者にも参加してもらい、地域を守っていききたいー

地域のシンボル日和田富士（御嶽山）を眺めながら語る中田さん。

まもなく収穫を迎えるそば畑は、まばゆく輝いていました。



広報 市長だより

93

ひまわりが繋ぐ被災地への思い

高山市長 國島芳明

日枝中学校生徒会のみなさんから10月10日、東日本震災の被災地への義援金を寄付いただきました。

日枝中学校の生徒会では、ひまわりを育て地域とつながることを目的に「ひまわりプロジェクト」を展開されています。

その活動の一環として、「南三陸ひまわりプロジェクト」活動を実施する吉城高校が被災地から譲り受けたひまわりの種を受け継ぎ、校庭に植えました。

今回お預かりした義援金は、そのひまわりが大輪の花を咲かせる中、生徒会のみなさんが呼びかけて集めたものです。

「この活動を次の世代に引き継いでいきたい」と力強く語る生徒会のみなさん。

本日、高山市は市制施行83周年を迎えましたが、生徒の皆さんの温かい心とともに、引き続き震災の経験と教訓を風化させず復興支援と防災への取り組みを推し進めてまいります。



ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー [高山市公式YouTubeチャンネル](#) 検索

市長室へようこそ
●市民と市長の面談日



11月13日(水)
午前9時～11時45分
※事前にご予約ください

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●36-2060
問合せ先 秘書課 ☎35-3130

印刷/高山印刷株式会社



編集・発行/高山市総務部広報情報課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL/0577-32-3333(代)
FAX/0577-32-7000 (市長室直通)
FAX/0577-35-3174 (広報情報課直通)

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp
HP/http://www.city.takayama.lg.jp/
携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/
防災行政無線の内容は電話でも確認できます
☎0180-995-690